



『米国企業における女性活躍促進への取り組みについて』

<日本語逐次通訳つき>

いま、日本では「コーポレートガバナンス・コード」の適用に関して活発に議論されています。この度、専門家であるコニグスバーグ氏をお招きし、上場企業における女性活躍促進への取り組みについて、コーポレートガバナンスの観点からアメリカの事例を中心にお話いただきます。女性役員の登用促進策、職場で活躍しながらいかにワークライフバランスを実現していくのか、また、女性役員の登用を含めた社内の多様性確保の潮流について詳しく説明します。

記

- 開催日時: 2015年6月25日(木)
講演会 16:30~18:00 交流会 18:00~19:00
- 開催会場: (公)県立広島大学 1175講義室 (広島市南区宇品東1丁目1-71)
- 主催: 駐大阪・神戸アメリカ総領事館
- 共催: (公)県立広島大学
- 定員: 100名
- 参加費: 無料 (※講演会, 交流会とも無料です。)
- 参加方法: オンラインで受け付けています。

下記 URL よりお申し込みください。<締め切り:6月24日(水)>

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/aa4cb0d5368149>

講師紹介



ダン・コニグスバーグ

デロイトトウシュートマツリミテッド

コーポレートガバナンス&公共政策担当マネージングディレクター

デロイトのコーポレートガバナンスグローバルセンターを率いており、ニューヨークを拠点としている。グローバルセンターは 35 カ国のガバナンスセンターのネットワークを通じて、コーポレートガバナンスの重要な分野における対話を促進している。デロイトの公共政策担当リーダーとして、ワシントン DC ならびにブリュッセルにて資本市場、経済、社会全体に影響を及ぼす重要な政策問題に関わっている政府関係者、政治家、投資家、および

非政府組織との関係構築を担うチームを統括。

デロイトに入社する前は、スタンダード&プアーズ(Standard & Poor's)でロンドン支局およびニューヨーク支局のコーポレートガバナンスディレクターを務めた。S&P での 8 年超に及ぶ期間に渡り、格付け対象企業のコーポレートガバナンスを評価するアプリケーションサービスの開発、およびガバナンス分析を信用格付けに統合することに尽力する。パリの経済協力開発機構(OECD)の経済産業諮問委員会(BIAC)のコーポレートガバナンスに関するタスクフォースの座長を務め、国際コーポレートガバナンスネットワークのビジネス倫理委員のメンバーである。エール大学よりロシア・東欧学学士号を取得。

■お問い合わせ■

駐大阪・神戸アメリカ総領事館 広報部 (担当:松村 Tel: 06-6315-5974 Email: matsumuramx@state.gov)

(公)県立広島大学 国際交流センター (Tel: 082-251-9607 Fax:082-251-9781 Email: puh-ie-s@pu-hiroshima.ac.jp)